

No.	事業名	団体名	委員コメント	評点 (平均)
1	失語症の理解と支援のための啓発事業	流山失語症友の会	<p>事業の目的にもなっている「支援の輪」を広げるためには、働きかけ先が対市民、対行政と二通りあり、それぞれ働きかけ方の方法が異なると思います。今年度、流山失語症友の会さんが取り組んだ事業の成果は、主に、対行政に対するものであり、行政の中に理解を得、支援の輪を広げることができたと思いますが、対市民、つまり、市民の中に「支援の輪」を広げるという点では、もう少しやり方に工夫ができると思います。</p> <p>市民の中に理解者・支援者を増やし、「コミュニケーション障害への理解を深めて、全ての人が住みやすい流山市を作る」のは、障害当事者-支援者（障害当事者の特性を理解している支援者、貴団体の場合は意思疎通支援者）という2者の関係を築き増やすだけでは難しい。もう一人以上の、他の得意分野を持っている方と組むことが必要になることでしょう。たとえば、失語症を知らない方が失語症の人と出逢う機会を戦略的に創出することを得意とするようなコミュニティ・コーディネーターの役割を担う仲間を増やす必要もあるでしょうし、ITに強い個人や団体と仲間になることでコロナ禍でも活動を続けやすくなることだと思いますし、コロナ禍だからこそやれることを見つけていくことができると思います。このように、他の団体や個人との連携を積極的に考えていかれることを期待します。</p> <p>このコロナ禍、当該「市民活動団体公益補助金事業」自体の中止も考えられていた中で、よく頑張って事業の継続実施に手を挙げて下さいました。心から皆様の熱意にエールを送りたいと思います。昨年度に引き続き、講演会と体験発表会等は中止せざるを得ない実情も、他の団体とはまた違った条件下にあるものと理解致しました。障害者を取り巻く環境はまだまだ厳しいとはいえ、地域や行政との共生・協働を自らの力で、かつ、笑顔で切り開いている、との感を持ちました。これからも是非、様々な機会を捉え、活動し、発信を続けていただければと思います。公益事業は2年続けて新型コロナウイルスに振り回されて、一番目的としていた啓発のための講演会が開催できなかったことは、残念で仕方ないとお察しします。しかしながら、講演会はZOOMを活用するなどできたら良かったと思う。</p> <p>リーフレットを配布したところ、支援者の申し出があったことや、行政の障害者担当に失語症のあり方について気づいてもらったことは、大きな成果だったと思う。失語症友の会さんの市民に感心を高めてもらいたいという大きな目的はある程度、達成できたのではないかと思います。2年間の啓発事業、お疲れ様でした。1年目最後の講演会もコロナの為、開催できず、2年目もリーフレットやパネルの作成は出来たものの、この状況下では思うように活動できず、不本意な形で終わることは大変残念だと思います。しかし、この2年間で確実に「失語症」について認知が高まったのではないのでしょうか？このコロナ禍では無理をせず、地道に活動を続けて頂きたいと思います。少しずつ、理解の輪が広がっていくことを願い、エールを送ります。</p> <p>この事業は、失語症を正しく多くの人に知ってもらい、障害者の支援につながることを目的に計画された事業だが、昨年からの全国的な新型コロナウイルス感染拡大により、人の移動、接触が大幅に制限され、日常生活に大きな影響を受けている中での事業であり、当初計画より事業縮小や中止になってしまった。しかし少しずつでも情報発信し、理解者や支援者を増やしていくことは必要である。今後の活動に期待します。</p>	2.00
2	防災まちづくり：女性の防災リーダー育成事業	流山防災まちづくりプロジェクト	<p>コミュニティのリーダー養成講座としての講座の組み立て方が素晴らしく、この事業の真の意義は、この事業を遂行することで生まれたであろうプロセスの中にあるように思いました。たとえば、各回に15人以上の方が参加しています。単発の方もいらっしゃると思いますが、継続して参加された人達の間には、それまではなかった関係性が築かれていることでしょう。それはリーダーとなっていく個人々のエンパワーメントにもつながることと思いますが、同時に、その方が一人ではなしえない（仲間がいるからできる）地域への働きかけができていくことにつながるだろうと思います。</p> <p>明らかに、真に「災害に強いまちづくり」に繋がる地道な一歩となる事業だと思いました。すぐに分かりやすい結果や成果は得られなくとも、継続されていくことを期待します。そのプロセスの中で、報告会の中でもありましたが、二項対立を想起しやすい「女性」とか、多くの方が尻込みしてしまう「リーダー」という言葉以外の、より多くの方がしっくりときて開わりやすくなる新しい言葉が生み出されるのかもしれない。そんなことを期待させられる事業報告でした。応援しています。</p> <p>昨今の災害の多発などを踏まえ、人々の防災意識は年々高まっているものの、具体的にどのように動けばいいのかわかみかねている市民は多いと思います。「災害」というテーマに「男女共同参画」の視点を取り入れ、具体的な市民活動として示して下さったことの意義は大きいと思います。次年度のさらなる事業拡大に期待したいと思います。なお、現在、タイムリー的に、女性の審議会委員の登用などが話題、かつ課題になっていますが、行政側も是非様々な分野での女性の活用について、積極的に考えていただければと希望します。講座で学んだ女性リーダーが実践で活動できるかが今後の課題と思われる。次年度の各自治会での実践訓練などで実績を積んで避難所の在り方を広めていってほしい。</p>	2.73
3	介護予防として脳トレ「昭和を語ろう」事業と成年後見制度の市民啓発事業	流山高齢者安心ネット	<p>半年という事業期間で感染拡大の波も変動する中、それに柔軟に対応され、大きな計画の見直しをしながらも全体としてまとまりのある事業を実施できている。普段から、自立性を持って、情報を収集し創意工夫されながら活動をしていることが、このような時に活かされたのだと思います。今後は、オンライン化とオンラインではこぼれ落ちてしまう層の方へのフォローとの双方の展開が必要になってくるとと思いますが、ますますの活躍を期待いたします。</p> <p>事業の申請書と実績報告書の内容の乖離に、正直、大変戸惑いましたが、「私たちが取り組む課題は一貫して、認知症対策と成年後見制度」と言い切られていることに頼もしさすら感じます。今後多様な角度から是非研究を進め、その成果を地域に浸透させていただけるよう期待致します。高齢者の対応は喫緊の課題である。高齢者に必須条件である成年後見制度の理解促進や、使いやすいエンディングノートの作成などに焦点をあてた事業で素晴らしい。</p> <p>回想法はよく理解できなかった。指導できる講師も一人で受講され、資格を取られたようだが、広く波及効果を高めるためには数人の資格者が必要と思う。ただし、その場合、講習料金は補助金で全て賄うのではなく、団体の資源として団体から支出することも検討されることを提案したい。</p> <p>【成年後見制度の市民啓発事業】オンライン講座に切り替えたことは評価できますが、当初より「コロナ感染状況によっては、DVD制作 オンライン講座実施」という計画が必要だったと思います。まだまだワクチン接種にも時間がかかりますし、オンライン講座での成年後見制度の講座開催となりますが、対象者の高齢者のデジタル・デバイド（情報格差）は深刻な問題になっていくように思います。</p> <p>【回想法事業】回想法もスクリーニング検査がスタートしたばかりで、事業の真価はこれからです。高齢社会において大事な事業であるので、行政との連携を目指すには、コロナ禍でも少しずつ実績を重ねるための創意工夫が必要と考えます。これからの事業展開に期待します。</p> <p>当初計画とはだいぶ変わってきてしまっているが、コロナ禍のため対策を考えて変更していった。新しい試みであったが新しい発見があったり、高齢者のITC技術指導であったり苦労されて事業実施されていた。次年度の事業に期待したい。</p>	2.10